

# 1 障害があっても暮らしやすい練馬

このレポートは、かとうぎ桜子が区議会議員としての最初の4年間の活動について総括をするためのものです。表の面に掲げた6つの項目が、特に力を入れてきたものです。

このページでは、今までの4年間でこれらの項目について、かとうぎ桜子がどんな声をあげてきたか、またどんな課題が残っているかをご紹介させていただきます。

今回は、障害のある子どもの生活を支えるための課題について紹介します。

## 障害のある子どもの居場所づくり

私のところに、障害のある子どもも親御さんから何件もの相談がありました。

その多くは、「小学生以上の障害のある子が放課後に過ごせる場所がない」という相談でした。

## いつも大人が見守る必要がある

たとえば、少し大人が目を見守る間に、知的障害のある子が外に出てしまうということがありま

す。そうすると交通事故にあう危険や迷子になってしまう心配もある。親御さんはずっと目が離せないという話を聞きました。

そこで、障害のある子ども達には、社会での生活を練習する必要がある。同時に常に目を離すことができない状態にある親御さんが休むことのできる時間を必要があります。また、障害の有無に関係なく、放課後は親と家で過ごすだけでなく、子ども同士で遊ぶ場があることも大切でしょう。

## 学童クラブだけでは対応できない面も

小学生の放課後の居場所としては「学童クラブ」というものがありますが、ここには「障害児枠」があります。（区の直営学童クラブでは2名、民間委託をしている学童クラブでは3名を受け入れています。）

しかし学童クラブは、親御さんが働いている場合の支援が中心ですから、待機児が出た場合に必ずしも障害があるからといって優先されるとは限りませんので、小学校6年間の居場所が必ず保障されるわけではありません。

たとえば同じ学童クラブに障害のある子が複数、申し込んだ場合には、低学年のお子さんが優先されますから、高学年の子は入れない可能性が高くなります。

また、私のところに相談に来てくれたお母さんは、ふだんは家でお子さんを見ているのですが、兄弟の保護者会などの用事があるときに、障害のある子を1人で家

においておくのが心配だということでした。そんなときに、少し見ていてくれる場所が身近にあったら心強いでしょう。しかしこういった場合には、親御さんの就業を前提にしている学童クラブで柔軟に対応することは難しいのです。

## 子どもの年齢や家庭の状況に応じた支援が必要

障害のある子がふだんの生活の中で使えるサービスには、ホームヘルパーに来てもらうことや、児童デイサービスに通うことなどがあります。

しかし、児童デイサービスは数があっても少ないのです。2010年5月現在、練馬区内には児童デイサービスが9ヶ所しかありません。これでもこの1年ほどでずいぶん増えたほうなのです。それに表を見ても分かるように、大泉や石神井に集中していて、地域的な偏りがあります。これは、大泉と石神井に特別支援学校・障害のある子が通う学校があるという事情もあるのだろつと思えますが、区内でこれだけ地域の偏りがあつては、「障害のある子が自分の住んでいる地域で暮らしていける」という理想からはほど遠いといえます。

また、児童デイサービスは18歳未満が対象になりますから、小学校低学年の小さな子どもと、中学生くらいの子が一緒に

児童デイサービスが使えるのは18歳未満だから、それ以後はどうしたらいいのか...

急な用事ができたときに、しばらく預かってくれるところが身近にあればいいのに。

障害を持つ子の親御さんの思い

来年、学童クラブに入れなかったらどうしよう。

子どもの年齢に応じた活動のできる場があったら....

近くに通える場がないと困る！

過ごすことになります。年齢が大きく違えば体の大きさ、遊び方法などが違うのですから、大変です。表にもあるように、年齢の小さい子に限定しているところもありますが、そうすると大きい子の居場所が狭まってしまう。

もし児童デイサービスがたくさんあれば、それぞれの事業所が工夫をして、年齢によってきめ細かな対応をすることができ、児童デイサービスが数少ない今の状況では、みんなが満足できる環境をつくるのが難しいのです。

児童デイサービスは区立が1ヶ所だけありますが、それ以外は民間が運営しているものです。障害のある小学生以上の子どもが過ごせる場所が少ないことを区も認識はしているのですが、「児童デイサービスは自立支援法のもとに民間が設置・運営するもの

なので、区として積極的な誘致が難しい」という考えのようです。しかし実際に、いま現在、多くの親御さんが放課後の居場所に悩み、近い将来への不安を感じているのです。その不安を解消しなければなりません。たとえば区として障害児の居場所作りをするという可能性もあるでしょうし、せめて民間の児童デイサービスが新たに開設しやすいように、物件探しの支援や開設後数ヶ月の補助という方法もあるでしょう。また、学校を卒業した後に過ごすことのできる場の確保も大きな課題です。

今後も皆さんとともに課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

障害の有無にかかわらず、子どもが安心して育つことのできる練馬を作るために、ぜひ皆さんも活動にご参加ください。

## かとうぎ桜子の活動をお手伝いいただけませんか？

かとうぎ桜子事務所では、以下のような活動にご参加いただける方を必要としています。ぜひ、ご協力ください。

このチラシに、かとうぎ桜子の活動賛同者としてお名前を載せる  
ポスターを自分の家や近所に貼る  
練馬区内にお住まいの友人・知人を紹介する  
事務作業の手伝いや電話かけをする  
ビラ配りをする  
カンパをする

【郵便局】  
00130-2-496362 市民ふくしフォーラム  
【銀行】  
三菱東京UFJ銀行大泉支店  
(普通) 4 6 7 2 3 8 8  
かとうぎ桜子を育てる会

その他、励ましをいただけると大変心強いです！

| 所在地    | 定員  | 対象年齢   |
|--------|-----|--------|
| 南大泉    | 10人 | 18歳未満  |
| 大泉学園町  | 10人 | 小学生まで  |
| 東大泉    | 10人 | 18歳未満  |
| 石神井台   | 10人 | 18歳未満  |
| 石神井台   | 10人 | 中学生まで  |
| 石神井町   | 10人 | 幼児～中学生 |
| 貫井（区立） | 32人 | 就学前    |
| 高松     | 20人 | 18歳未満  |
| 高松     | 10人 | 幼児、小学生 |

【表：児童デイサービスの所在地と定員】

（2010年5月現在、「東京都障害者サービス情報」と練馬区の担当者への聞き取りによる。区立施設はいくつかの療育事業の一部）